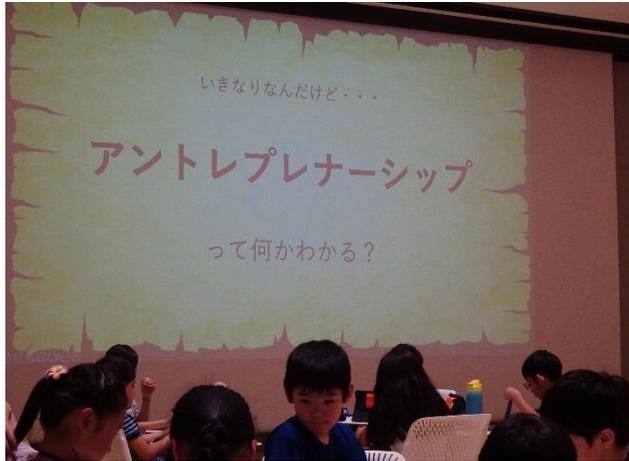
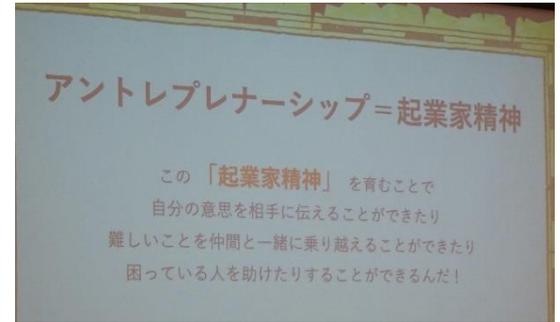


ハローキャリアワーク通信 (小学生の部)



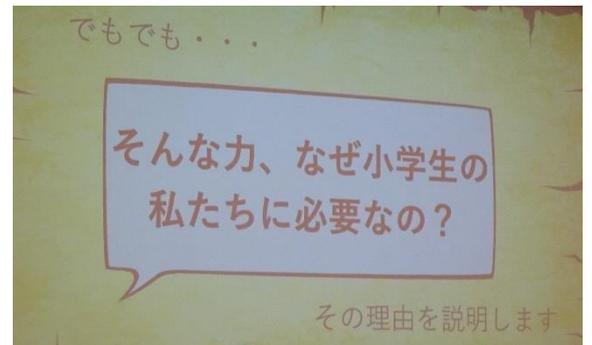
9月2日(土曜日)に「子どもの視点で社会を変える」をコンセプトに株式会社BYD 代表取締役の井上創大氏による「起業家教育講座」が行われました。今回は、井上氏のご厚意と一緒に来られた保護者の方もご都合のいい方は参加できることになりました。(小学生の部)



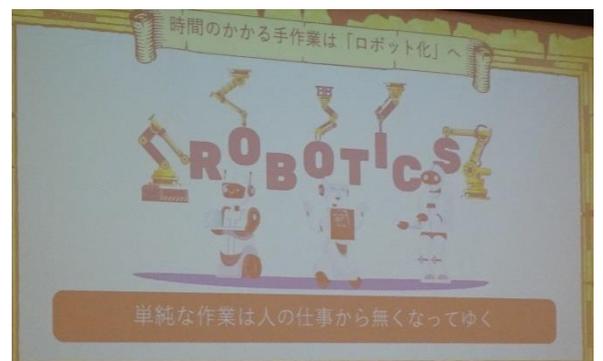
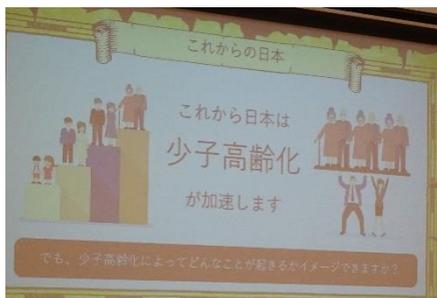
初めは、井上氏の自己紹介から始まり(自己紹介の仕方を教えている)各グループ内で子ども同士の自己紹介が始まりました。そして、今回は持参したタブレットを使用するため、センターのWFに接続し、自由に使えるようにしました。そして、今回のテーマである「アントレプレナーシップ」についての話になりました。しかし、子どもたちがこの言葉を知らないことを見越して、井上氏の話が進められました。起業家精神、この力がこれからの社会で必要になると井上氏は、子どもたちに伝えました。



Chat GTPの話や3Dプリンターで家が作られる話など、現在のAIやコンピューターの進化など、具体的に進められました。その中でロボット化される仕事により、人が携わる仕事が

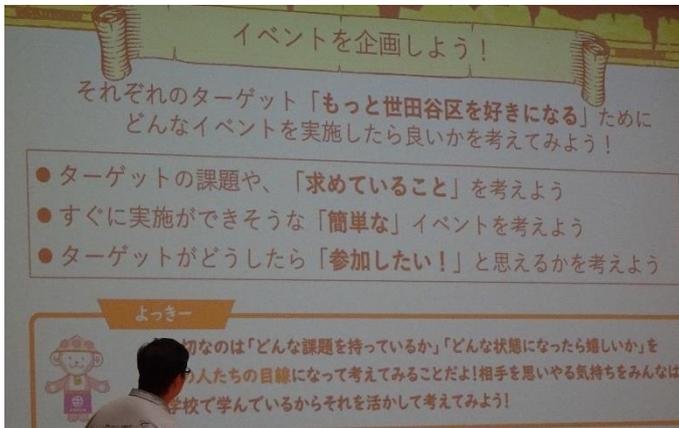


なくなる、そして日本社会の現状として、「少子高齢化」の進行を話してくださいました。そこで本題に入りました。すなわち、アントレプレナーシップ能力を身に付けるとどんないいことになるのかということです。そのことについて、各グループで話し合わせました、その際、BYDのスタッフの支援を受けながら、タブレットを使用して、分からないことなどは調べることがも行いました。また、自分の考えは、全てタブレットに打ち込んで、グループ内では、共有するようにもしました。このように、話し合う際にタブレットを使うことにも慣れ、





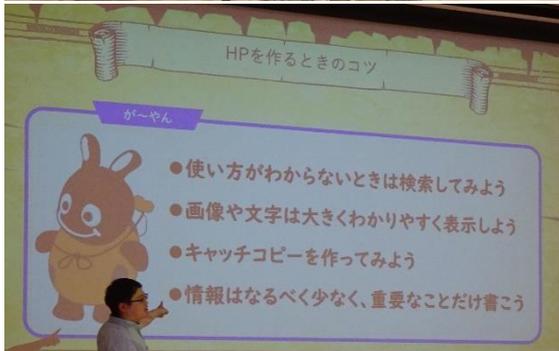
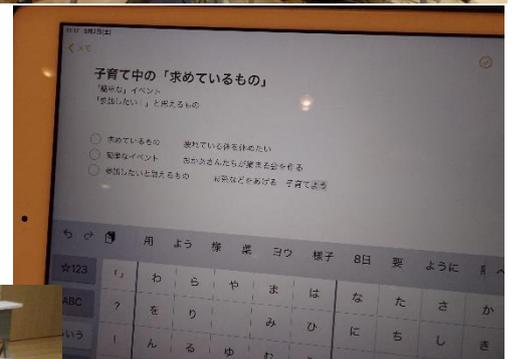
さらに課題は示され、より具体的になってきました。すなわち、この課題に対して、各グループが仮想の会社になり、どのように取り組んでいくかを具体的に決めていくことになっていました。そのために、各グループは「会社名」、社長、副社長を決めました。(話し合いで) また、取り組み方として、ターゲット



を絞る大切さも示し、各会社は、魅力あり安心安全な街づくりに必要なことを考え始めました。その方向性として、「世田谷区を好きになるイベント」を企画する。さらに選んだターゲットが



求めていることを考えるなど、より具体的に進められるようにしていただきました。そして、その際「Chat GTP」を使うこと、また、企画を宣伝する方



法として、動画とHPであること。さらに、そのポイントとして「3M：Music 音楽は耳に残る、Model 誰に、何に Message シンプルに」とポイントを示していただきました。各

会社は動画作成とHP作成になり、「キャンバ」をタブレットに取り入れ、作り始めました。そして、最後に各会社の内容を発表して、小学生の部は終了しました。実に内容の濃い講座になったと感じました。